

本日の協議について

7. 1. 30

◎前回まで

○第1回の委員会

「検討委員会の設置要項の確認」「町内小・中学校の現状把握」「町内の子どもの数の推移と各学校の児童生徒数の推移」について学習を行い、質疑応答・意見交換。

○第2回委員会～第4回委員会

- ・「これからの学校教育に求められるもの」「辰野町の目指す教育」の共通理解
- ・グループ協議「これからの時代にふさわしい辰野町の学校あり方」
 - 着眼点「少子化の進展に対応した学校」
 - 「これからの子どもたちに必要な学び」
 - 「地域と共に歩む学校」等

↓

現状のまま小学校を残すことは子どもたちにとって好ましくない。ここで思い切って何らかの形で小学校を集約しなければならない。

↓

○第5回委員会「集約するには、どんな方法があるのか」

- ・「小中一貫校」と「義務教育学校」について資料をもとに学習

○第6回委員会（本日）

「辰野町の新たな学校」について

(1) 「小中一貫校」と「義務教育学校」について、理解を深める。

- 前回の質問に対して事務局より
- まだわからないこと、心配なこと 等

(2) グループ討議「学校をどう集約していくか」

- 小中一貫校
- 義務教育学校
- 小学校を集約する
- いずれ小中まとめる

- ・西と東で大きな学校、南を小さな学校
- ・低学年は地域、高学年は一つ

(3) まとめ